

日本学術振興会  
炭素材料第117委員会  
第309回委員会議事録

1. 日 時 平成26年4月11日(金) 9:30~16:45

2. 場 所 東京工業大学 大岡山キャンパス  
情報理工学研究科・大会議室(西8号館(East)1001号室)

3. 出席者39名 (順不同・敬称略)

委員 長： 川口雅之(大阪電通大)

主 査： 尾崎純一(群馬大)、豊田昌宏(大分大)、児玉昌也(産総研)

幹 事： 寺井隆幸(東大)、稲垣道夫(北大)、塩谷正俊(東工大)、棚池修(産総研)、  
山口秋男(炭素協会)、藤本宏之(大阪ガス)、京谷隆(東北大)、  
小林知洋(理研)、安田榮一(東工大)、吉田明(都市大)

委 員： 塩山洋(産総研)、飯島孝(新日鐵住金)、岩下哲雄(産総研)、  
園部直弘(クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパン/代理：小松真友)、  
中壽賀章(積水化学工業)、平田孝道(都市大)、松本里香(東京工芸大)、  
福田敏明(東海カーボン/代理：鶴田佳子)、向井紳(北大)、  
河合隆伸(日本カーボン/代理：柴田博史) 山下順也(旭化成)、  
高波浩(タンケンシールセーコウ/代理：川村良一)

委員 外： 加藤正明(群馬高専)、清原健司(産総研)、斎藤幸恵(東大)、  
寺西春夫(石川カーボン科学技術振興財団)、菱山幸宥(都市大)、鏑木裕(都市大)、

同伴者他： 粕壁隆敏(東北大)、曾根田靖(産総研)、宮澤邦夫(室工大)、吉澤徳子(産総研)、  
兒島勇(タンケンシールセーコウ)、鶴見裕貴(タンケンシールセーコウ)、  
木村裕(日産化学)、清家理一郎(炭素協会)

4. 本委員会議事経過

川口委員長司会の下に本委員会を開催した。

4.1 前回議事録の承認

第308回議事録(案)を以下の修正の後承認した。

- ・同伴者他の項目に森下裕行(東大)、諸星圭祐(産総研)を追加
- ・同伴者のうち以下を修正

兒嶋勇(タンケンシールセーコウ) → 兒島勇(タンケンシールセーコウ)

荻野勲（東北大）→荻野勲（北大）

- ・報告 117-308-A-3 の著者を以下に修正

○石井孝文<sup>1</sup>, 京谷隆<sup>1</sup>, 鏑木裕<sup>2</sup>, 吉田明<sup>2</sup>, 菱山幸宥<sup>2</sup>（東北大<sup>1</sup>, 都市大<sup>2</sup>）

また、分科会議事録については以下を修正する。

- ・117-308-B-1 の 10 行目 配勾度 → 配向度
- ・117-308-B-2 の 6 行目 1・15 nm → 10・15 nm
- ・117-308-C-2 の冒頭 白石壮志委員 → 白石壮志氏
- ・117-308-C-3 の 7 行目 2.5 μm → 2.5 nm
- ・117-308-C-3 の末尾 北海道大学工学部 → 北海道大学

## 4.2 第 1 1 7 委員会関係

### (1) 委員長報告等

#### (a) 人事関係

(退任)

- ・小林知洋 庶務幹事（理研）（幹事へ身分変更）
- ・山口秋男 幹事（炭素協会）

(新任)

- ・庶務幹事：棚池修 氏（産総研）
- ・幹事：清家理一郎 氏（炭素協会）
- ・幹事：藤本宏之 委員（大阪ガス）

#### (b) 第 4 回日独合同セミナー

7/7-8 に札幌（北大）で開催。117 委員会 HP および 4 月発刊の炭素誌会告に要項を掲載。企業からの発表を特に募集。二日目は主として Students' Day であり、学生用の短い時間割も用意しているので、経験および実績を積む機会として頂きたい。協賛金をお願いできる場合には、1 名分の参加費を無料とする決定を行った。

#### (c) 次回以降の予定

- ・第 310 回 7 月 25 日 東京都市大
- ・第 311 回 9 月 12 日 東大
- ・第 312 回 11 月 20 日（特別講演会）、21 日（ABCD 合同委員会） 産総研

### (2) 分科会報告

(117-309-A-1) Multiple structural components in as-doped pyrolytic carbon

Robert H. Bragg<sup>1</sup>, Akira Yoshida<sup>2</sup>, Yutaka Kaburagi<sup>2</sup>, ○Yoshihiro Hishiyama<sup>2</sup>

(University of California, Berkeley<sup>1</sup>, Tokyo City University<sup>2</sup>)

- (117-309-A-2) DLC 膜の異なる相手材に対するトライボロジー的挙動(II)  
○寺井隆幸, 森下裕行, 宮井清一, 鈴木晶大 (東大)
- (117-309-B-1) 高圧フッ素雰囲気下で得られるフッ素系黒鉛層間化合物  
○藤本宏之<sup>1</sup>, Alain Tressaud<sup>2</sup> (大阪ガス<sup>1</sup>, フランス国立科学研究センター<sup>2</sup>)
- (117-309-C-1) 炭素系固体酸触媒の高機能化  
○塩山洋<sup>1</sup>, 櫻井宏昭<sup>1</sup>, 徐強<sup>1</sup>, 木内正人<sup>1</sup>, 木村裕<sup>2</sup> (産総研<sup>1</sup>, 日産化学工業<sup>2</sup>)
- (117-309-C-2) 炭素被覆した粉碎シリコンナノ粒子のリチウムイオン電子負極特性  
○粕壁隆敏<sup>1</sup>, 西原洋知<sup>1</sup>, 岩村振一郎<sup>2</sup>, 京谷隆<sup>1</sup> (東北大<sup>1</sup>, 北大<sup>2</sup>)

#### 4.3 報告事項

##### (1) 炭素材料学会関係

学会関係：尾崎主査（運営委員長）より以下の報告があった。

##### (a) 講習会・セミナー

- ・1月24日（金）に日本教育会館にてセミナー「炭素－シリコン複合系リチウムイオン電池負極材料」を実施。参加人数 80 名。
- ・先端講習会（6月）について、定員は 200 名だが、300 名までは受入可能なので定員を超えても受付をする予定。講師については 2 社を除きほぼ内諾を頂いている状況。会告は 4 月号に掲載済。
- ・各セミナーでは事前質問のみを受け付け、フィルターを通した質問を講師にお知らせをする方向で今後検討する事となった。
- ・夏季セミナーは実行委員会主催により下記の要領で開催する。6 月中旬より申し込み受付開始。  
日時：平成 26 年 8 月 25 日～8 月 26 日 会場：仙台秋保温泉

##### (b) 第 40 回年会準備状況

九州大学尹先生にお願いして、下記のとおり第 41 回年会を開催する。

期日：2014 年 12 月 8 日（月）～10 日（水）

会場：まどかぴあ（大野城市施設）

炭素誌関係：曾根田氏（編集副委員長）より以下の報告があった。

(c) 262 号が発刊済み。263 号は 6 月中旬発刊見込。

(d) 264 号は燃料電池特集。現時点で投稿が少ないので協力をお願いしたい。

(2) Carbon 誌関係

特になし

(3) 国際会議関係

・ Carbon2014

日時：2014年6月29日～7月4日

場所：韓国 濟州島

若手・院生への参加補助募集：5/13 必着で締め切り（炭素材料学会）

・ 第4回日独合同セミナー(7/6-8, 札幌)

・ Carbon2020 準備委員会

京谷幹事が委員長に就任。今後は準備委員会が開催に向けての準備を行う。

候補地：京都

日時：①2020年6月28日～7月3日

②2020年7月5日～7月10日

(準備委員会で審査する)

・ Carbon 会議における若手奨励賞について

京谷幹事より、日本人の応募が少ないので応募を推奨する旨発言があった。

(以上)